

# 政策調整会議の概要

開催日 平成 21 年 6 月 11 日 (木)

## ◎項 目

- 1 土佐・龍馬であい博について【観光振興部】
- 2 骨太の方針 2009 への反映状況について【総務部】
- 3 「高知県の現状と課題」について【総務部】

## ◎内 容

### 1 土佐・龍馬であい博について【観光振興部】

観光振興部から、土佐・龍馬であい博について資料を配布し説明の上、意見交換を行った。

#### 【概要説明】

- ・土佐・龍馬であい博の開催期間は来年 1 月 16 日から再来年 1 月 10 日までの 350 日間を予定している。
- ・メイン会場は、JR 高知駅の駅前広場南口約 6,300 平方メートルの県有地を利用する。
- ・メイン会場にはテーマ館と情報発信館を設置し、テーマ館はであい博終了後も残し、活用する。
- ・メイン会場以外に、安芸市、土佐清水市、梶原町にサテライト会場を構える。
- ・入場料金は、通常の料金設定のほか、メイン会場とサテライトの 3 会場を全て回ることでできるパスポート券の設定を予定している。
- ・今後、来年 1 月 16 日に向けて、県民の皆様やエージェントへの周知を行っていく。また、今回は特に 10 月頃から首都圏にも大いに打って出ていきたい。
- ・知事が会長を務める土佐・龍馬であい博推進協議会には、運営委員会が設置をされているが、その総合プロデューサーとして、西川りゅうじん氏と藤沢安良氏に就任いただき、アドバイスをいただくことになっている。
- ・テーマ館や情報発信館、サテライト会場については、現在ネーミングを募集しており、6 月 19 日に決定する予定である。

#### 【主な意見】

- ・メイン会場運営委託契約期間は再来年 1 月 31 日とのことだが、土佐・龍馬であい博が終わっても情報発信館を続けるのであれば、3 月末までの契約にしておくべきである。また、コンシェルジュ機能を間断なく引き継ぐためには、「これは、土佐・龍馬であい博の期間だけ特別に行うのではなく、後に引き継いでいく」というコンセプトをきちんと持つ必要がある。できれば、何ヶ月か研修をして県内の様々な観光情報を発信するノウハウを持った人を引き継いでいけるような工夫をしてほしい。(副知事)
- ・期間中は、「はとバス」的な周遊バスを運行させるということだが、交通運輸政策担当理事と観光コンベンション協会、観光振興部がよく調整をして、役割分担をきちんとしておかなければならない。(副知事)
- ・土佐・龍馬であい博のイメージキャラクターは、農産物のパッケージなど様々な商品に使うことはできるのか。  
→申請をすれば使うことができる。こちらからも大いにお願いをしたい。

### 2 骨太の方針 2009 への反映状況について【総務部】

総務部から、骨太の方針 2009 への高知県の要望の反映状況について資料を配布の上、説明を行った。

#### 【概要説明】

- ・6月9日に政府の骨太の方針の素案が出された。
- ・高知県として政府の骨太の方針に盛り込んでいただきたい事項の反映状況を見たところ、表現や方向性に違いはあるものの、こちらの意図する内容が素案にほぼ盛り込まれていると思われる。
- ・明日、知事が国に要望活動を行うことになっているが、骨太の方針は本月19日か23日に閣議決定される見込みであるため、骨太の方針に向けての要望はこれで一定終わることとなる。
- ・高知県の要望事項の骨太の方針への反映状況は、閣議決定された段階で、各部局に最終のチェックをお願いしたい。

### 3 「高知県の現状と課題」について【総務部】

総務部から、高知県の現状と課題についての資料を配布の上、説明を行った。

#### 【概要説明】

- ・知事が国への要望活動を行う際などに使っている「高知県の現状と課題」という資料について、各部局で共通の認識を持ってもらいたいという情報共有の視点と、これから県の政策を考えていく若い職員に県の全体像を知ってもらうための人材育成の視点から、紹介をしたい。
- ・資料は、全国に先行した過疎と高齢化から始まり、厳しい財政状況、全国から取り残された経済と雇用情勢、教育危機など、厳しい面をまとめたものとなっている。これに各部局の課題なども加えるなどして、これから政策企画をするような職員を育てるためにも活用してもらいたい。